



「社会構造の変化

に的確に対

応している

かどうかを

常に自問自

答してい

る」とある

処理業者は語った。

処理業に求められる

社会のニーズは高度

化・複雑化し続けて

いるといえる。適正

処理はもちろん、リ

サイクルの品目も多

岐にわたり、温暖化  
防止も加わった。こ  
れらに対応するに  
は、よりいっそう、  
技術やサービスの向  
上が必要で、そのた  
めの普及の努力も欠

年11月から「CSR  
2プロジェクト」が  
始まった。CSRは  
「企業の社会的責任」  
と解されるが、企業  
も社会の一員であり、  
地域社会に貢献しよ

ではなからうか。何  
より地域から信頼さ  
れる、よい業者であ  
ることが、制度上求  
められている業種で  
ある。釈迦に説法で  
良質な関係

# “お家芸”に CSRを処理業の

「迷惑施  
定・存続は  
望めない。」

かせない。

もう一つ、処理業

界の課題として浮上

しているのが認知度

の向上。昨年の「C

O<sub>2</sub>マイナスイオン

プロジェクト」に続き、今

うという考え。地域  
のイベントやボラン  
ティアへの参加など  
認知度の向上は、本  
業にもプラスになろ

「設」から「なくては

ならない施設」へ。

認知度の向上は、本

業にもプラスになろ

う。CSRを、処理業

の“お家芸”にして

ては至極当然の感覚

いってほしい。(文)